



お客様から信頼される 「ファーストコールカンパニー」として より良い社会の実現のために

三井倉庫グループは創業以来100年以上にわたり、幅広い業種・地域においてお客様の物流課題に真摯に向き合い続けてきました。生来の倉庫業を基盤としながら、陸・海・空のフィールドにおいても輸送に携わりつつ、近年のM&Aと設備投資を経て多様化するお客様のニーズに対応可能な「フルスペックの物流機能」を備えるに至りました。特に、医薬品や自動車部品、美術品等の特殊な管理環境を要する貨物の取扱いにおいては、高い専門性と万全な設備で品質を維持することにより、お客様より高い評価を得ています。

三井倉庫グループは、「物流」という重要な社会インフラを支える企業として、持続可能な社会構築に向けた取り組みを進め、社会価値を創出していくとともに、国内外の企業活動においてお客様が考える価値を共有し、物流の課題を抱えるすべてのお客様から、最初に相談される「ファーストコールカンパニー」を目指してまいります。

CONTENTS

01 WHO WE ARE

- 01 価値観
- 03 歴史
- 05 フィールド

07 VALUE CREATION

- 07 価値創造プロセス
- 09 グループCEOメッセージ
- 14 事業概況
- 15 倉庫保管・港湾運送・海外における物流サービス—— 三井倉庫
- 17 航空貨物・複合一貫輸送—— 三井倉庫エクスプレス
- 18 サードパーティーロジスティクス(3PL)—— 三井倉庫ロジスティクス
- 19 SCM支援—— 三井倉庫サプライチェーンソリューション
- 20 陸上貨物輸送—— 三井倉庫トランスポート
- 21 持株会社・不動産事業—— 三井倉庫ホールディングス

22 FOUNDATIONS FOR VALUE CREATION

- 22 サステナビリティ
- 23 環境
- 24 社会
- 25 コーポレート・ガバナンス

27 FINANCIAL SECTION

- 27 5年間の連結財務・非財務データ
- 29 連結貸借対照表
- 30 連結損益計算書、連結包括利益計算書
- 31 連結株主資本等変動計算書
- 32 連結キャッシュ・フロー計算書

33 CORPORATE DATA

- 33 グループ・ネットワーク
- 34 会社情報・投資家情報

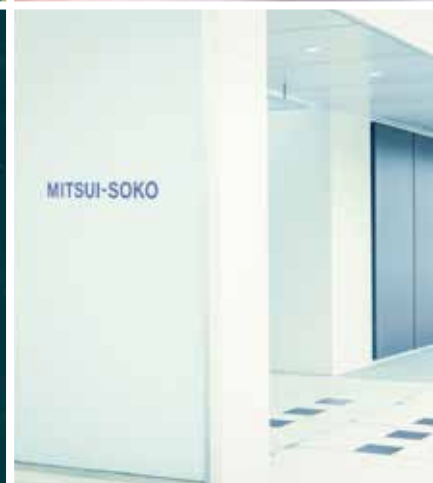
【編集方針】

本レポートを中長期の成長に向けた経営戦略や、成長の基盤となるESG情報、当期の業績・財務情報などを盛り込んだディスクロージャーとして位置づけ、投資家の皆様を主な対象として発行しています。

また、ホームページにおいても、当社のさまざまな情報を網羅して掲載しています。読者の皆様には、本レポート及びホームページを併せてご覧いただくことで、当社へのご理解を深めていただければ幸いです。今後も読者の皆様のご期待に沿える誌面編集に努めてまいります。

【将来の見通しに関する免責事項】

本レポートに記載されている当社の将来の業績に関する計画・戦略・見通し・経営に関する取り組みなどのうち、歴史的事実でないものは、将来予測であり、これらは現在入手可能な情報に基づいた仮定及び判断です。実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や商品の価格、新しい商品の開発・販売や原材料価格・為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合があります。



VISION

物流から価値を

MISSION

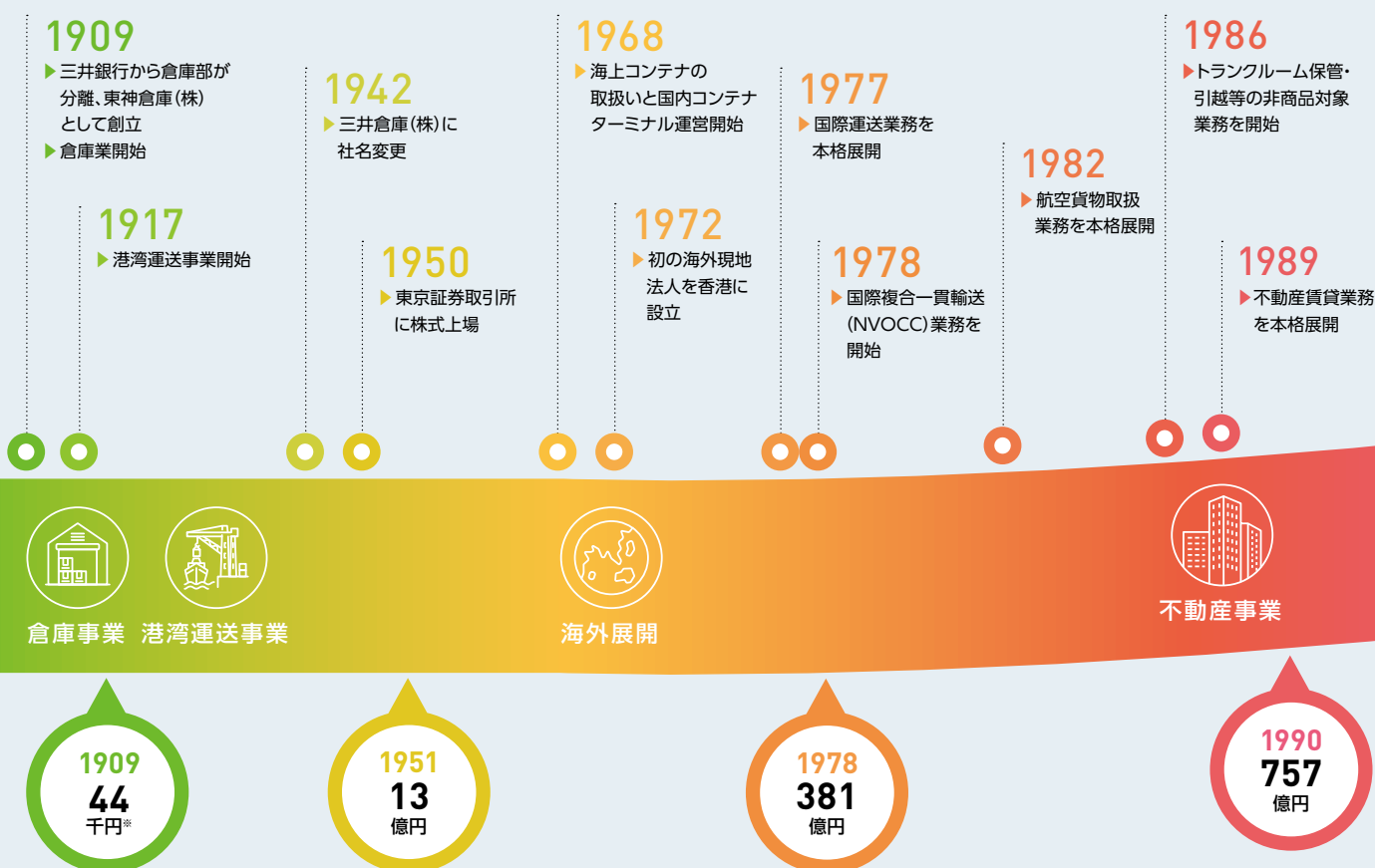
お客様から信頼される
ファーストコールカンパニーとなること





歴史

海外提携・M&Aを通じて新規事業を展開 物流トレンドをつかみ拠点・業種を拡張して



創業からの連結営業収益推移

※1909年 第1期決算(1909年10月～1909年12月)は総益金として計上

創業・発展期(1909年～1988年)

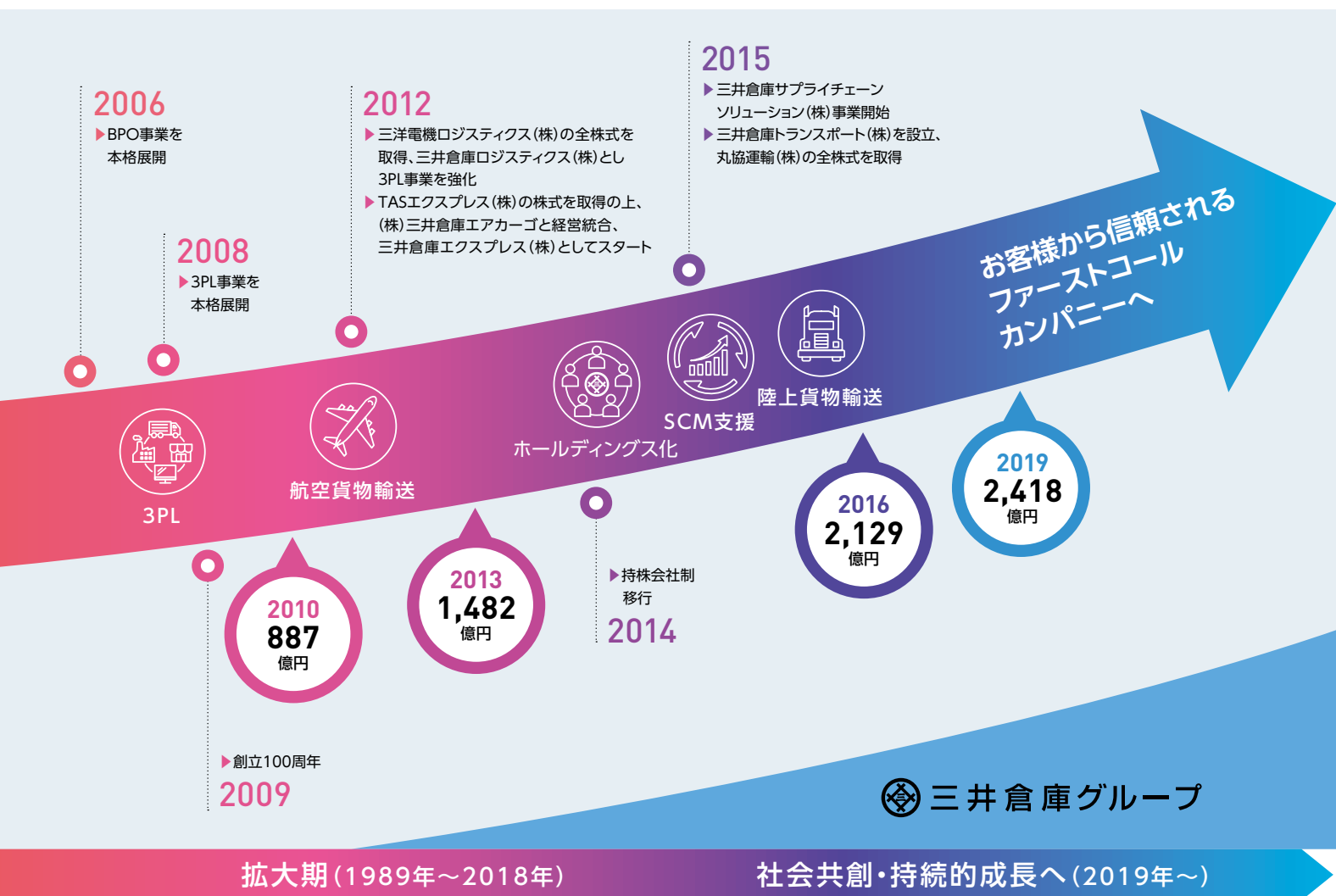
日本の近代化を背景に 倉庫業を開始

日本の近代産業が勃興するなか、1909年に三井倉庫グループの前身である「東神倉庫株式会社」が創立されました。1915年には、保管業務にとどまらず、綿花荷捌業務、船内荷役業務に参入し、倉庫業から物流業へと踏み出します。このように、物流のトレンドをつかんで業種や新規業務に投資するという、現在の三井倉庫グループにもつながる社風は、この当時から脈々と受け継がれています。創立以来、日々の生活を支えるさまざまな製品を大切にお預かりするという倉庫業で培ったDNAは100年以上にわたり醸成され続けています。

倉庫業を起点とした 新事業体へと発展

これまでの保管貯蔵主体の倉庫業から、配送能力を強化した流通倉庫業へ業容を拡大。その後コンテナリゼーションの先駆者である米船社よりコンテナターミナル作業と陸上運送の委託を受けて、陸上運送業務を大きく発展させました。1970年代には、陸と海に続き、空飛ぶ新たな貨物輸送の時代に対応すべく航空輸送を開始し、国際業務の拡大を進めました。このような輸送手段の移行という時代の変化を捉え、顧客のニーズに対応しながら業容を拡大したことが、現在の三井倉庫グループの幅広い業務につながっています。

きた100余年



積極的なM&Aや設備投資で 総合物流企業としての体制を構築

グローバルな競争を勝ち抜いていくために、積極的なM&Aやアジアパシフィックにおける成長領域への集中投資を実行。2012年には、3PL業務を強みとする三井倉庫ロジスティクス、航空貨物輸送業務を基盤とした三井倉庫エクスプレス、2015年には、工場物流や販売物流を軸とする三井倉庫サプライチェーンソリューション、運送ネットワークを統括・管理する三井倉庫トランスポートがそれぞれ事業会社としてグループに加わりました。多様化するお客様のニーズに対応すべく、最適な物流サービスを提供するグローバル総合物流企業としての体制を整えました。

持続的成長に向け 新たなフェーズへ

グローバル総合物流企業として、物流の川上から川下まで一気通貫の物流サービスを展開。100年以上にわたり培ってきた物流ノウハウとグループ総合力を生かし、国や地域、業種の垣根を越えてお客様の課題解決に一層取り組むことで、「お客様から信頼されるファーストコールカンパニー」を目指します。グローバルかつ有力な顧客基盤、多様な物流メニュー、さまざまな経験や知識をもった多様な人材などを有機的に活用することで、フルスペックの物流機能を一層拡充し、社会と共創するとともに持続的成長へ向けた新たなフェーズへと飛躍していきます。

WHO
WE ARE

フィールド

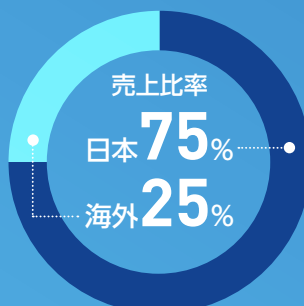
幅広い展開地域・分野における 三井倉庫グループのプレゼンス

南北アメリカ

拠点数	18カ所
所管面積	53,490m ²
従業員	128名

三井倉庫グループは、世界各地に幅広いネットワークを展開するとともに、さまざまな顧客産業に対応した多様なノウハウを有しています。生産、流通、消費といったあらゆる経済活動を有機的に結びつける総合的な物流プレーヤーとして、地域・分野にかかわらず、幅広いお客様の物流を支えています。

21カ国
約400カ所の
拠点



日本国内
71件の
付加価値認証・
特許・資格の取得

主な付加価値の領域

ISO/AS/JIS-Q 他認証関連	14件
ヘルスケア関連	14件
BPO関連	5件



※数値は2019年3月31日現在

ヨーロッパ、アフリカ、中東

拠点数	34カ所
所管面積	174,062m ²
従業員	884名

東南アジア

拠点数	38カ所
所管面積	290,879m ²
従業員	2,048名

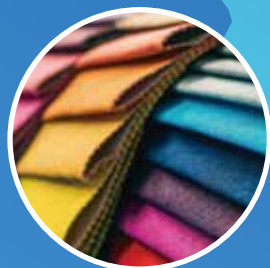
北東アジア

拠点数	48カ所
所管面積	132,153m ²
従業員	665名

日本

拠点数	270カ所
所管面積	1,571,450m ²
従業員	5,088名

幅広い分野に 対応できる高品質な 物流ノウハウ



繊維・衣料



通販



生命保険・
損害保険



航空宇宙関連



自動車関連



小売・卸・
日用雑貨



医薬・医療
機器



教育



食品



産業資材・
化学品



大型設備・
機械



家具・家電



エレクトロ
ニクス関連



金融機関

